

誰もが暮らしやすくなる「さわやか」で「安全」「安心」「心豊か」に暮らせるまち「可児」を目指して

**里山の保全と緑化の推進**  
山林等の雑木や竹林の伐採と広葉樹の植林に取組みます。

**歩きやすくなる歩道の整備**  
いつでもふらっと出かけられ、気軽に人と人が触れ合える空間整備を進めます。

**花フェスタ記念公園の活用**  
『蕃薔の咲く庭のある暮らし』をテーマに花と樹苗の生産販売拠点として、市民や観光客が集う公園を目指します。

**可児駅橋上化で駅周辺の有効利用**  
可児駅橋上化を実施し、鉄道を利用して参加できるスポーツ等、各種イベントが可能な総合施設建設の計画を進めます。

**地元企業の振興と支援**  
小企業者の事業の持続的な発展を図るため、円滑かつ着実な事業運営を支援し、多様な需要に応じた商品・サービスの販路拡大・新事業展開を促進すると共に適切な単価・価格を維持するため、公契約条例を検討して行きます。

**子育て世代が集まる住宅環境の整備**  
小学校を中心に住宅地として有効活用を推進し、いつでも安心して外出できる地域環境が確保できる都市基盤整備を進めるため、都市計画を見直します。

**子育て施設の充実**  
広見児童センター、歯検定所跡地などの市有地財産などを活用し、子育て支援、高齢者の生きがい、障がい者の安らぎ場所を兼ね備えた多世代が交流し合える総合福祉施設整備の計画を検討し、整備します。

**楽しく学ぶことのできる義務教育の環境づくり**  
小中学校の空調設備を充実させ、バリアフリーを計画的に進めると共に、キッズクラブを子供たちが多様に利用できるよう検討し、更に充実させて行きます。また、様々な面からスクールサポーターを強化し、教師の負担軽減に努めます。

**共に支え合えるシステムづくりと環境整備**  
0歳児から高齢者、障がい者が共に利用できる「富山型デイサービス」の推進と支援をして行きます。

**障がい者の安らぎづくり**  
障がい者が気軽に安心して過ごすことのできる、心のこもった居場所づくりに努めます。

- ★ 学校給食費を無料にします。
- ★ 可児駅を橋上化し、可児の元気な顔づくり。
- ★ 雨水排水計画を見直し、減債に努めます。
- ★ 『安全』を目指し、都市計画を見直します。
- ★ 地域自治会の声を十分に聴き、市民サービスに努めます。
- ★ 障がい者、生活困窮者に対し、総合的な支援に取組みます。



**地域医療の充実**  
医師会・可児とうの病院・行政が連携し、地域医療の充実のために支援をして行きます。

**利用しやすい病児・病後児の保育施設の充実**  
誰もが利用しやすい病児・病後児の保育を目指し、インフルエンザでも対応できるように検討します。

**自然と歴史を生かした観光産業の創出**  
歴史的なまち「久々利」や「兼山」などの地域資源を生かし、陶芸文化や芸能文化、昔の交通・流通文化などに触れながら、現在の「可児」の素晴らしさを発信し、体感できる観光産業に取組みます。

**自然と共生できる都市基盤整備**  
過去の自然災害を教訓に、市全体の雨水排水計画の見直しと災害発生予想区域の指定の検討をし、都市基盤整備と安全な開発指導を行って行きます。

**在宅介護の推進**  
どのような家庭環境でも、自宅で手軽に介護が受けられるために、在宅医療連携拠点事業に取組み、在宅介護を支援します。

**大家族化計画の推進**  
血縁関係のない核家族同士でも、ひとつ屋根の下で共に助け合って暮らすことの出来る環境整備と支援をして行きます。

**人口増に向けた住宅地再開発**  
昭和40年代に開発された住宅地の災害に対する雨水排水の安全性の調査をして、その対策と若い世代に魅力が感じられ、高齢者にやさしく、二世帯で暮らすことのできる空間を確保できるまちづくりを目指し、再開発を進めて行きます。

**自治体運営の見直し**  
今後の社会情勢に適応した自治体運営を模索し、税を含めた財源の在り方、自治会の助成金を含めた支出の在り方など、健全財政を維持するため、自治基本条例について検討して行きます。

**臨時財政対策債の見直し**  
予算編成において積算精度を高め、税金を市民サービスのために有効に活用し、過度な市債を増やすことなく、将来世代に負担とならない財政改革に取り組みます。

**ワンストップ窓口の設置**  
組織の縦割りの弊害をなくすため、横の連携を密にし、様々な課題を無駄なく解決に向けて取り組めるよう、総合的な部署を設置し問題解決に取り組めます。



山 無所属  
やま 無所属  
ぐち 無所属  
まさひろ 56歳

“住みごこち一番”可児を目指します！

戦略は **かに支え愛“Kプロジェクト”** キーワードは **市民力** ~市民の知恵と共感が支えあう力~

2 期目の主な取り組み

- 高齢者の安気づくり**
  - K ケアシステム(可児市版の地域包括ケアシステム)を構築し、医療・介護等の専門家と地域、市民が協力して高齢者を支えます。
  - K マネー事業(支え愛地域づくり事業)により、地域の支え合いと地域経済の活性化を図ります。
- 子育て世代の安心づくり**
  - マイナス 10 ヶ月(妊娠期)から幼児期、学齢期までのつながりをもった子育て施策を推進します。
  - 可児駅前に、子育て支援機能を核とした健康づくりとにぎわいを創出する交流拠点を整備します。
- 地域・経済の元気づくり**
  - 観光交流人口を倍増させ、地域のヒト、モノ、カネの動きを活発化させます。
  - 美濃桃山陶の聖地の国指定史跡を目指すとともに、その魅力を全国に発信していきます。
- まちの安全づくり**
  - 公共施設マネジメント方針(仮称)を作成し、図書館、サッカー場など、公共施設整備・管理のあり方を提案します。
  - 通学路や雨水排水路の整備、障がい者福祉サービス施設の充実をすすめ、地域の声を聞きながら、まちの安全づくりを推進します。

明日の可児をみつめて、次の4年間も全力で取り組みます。  
**富田しげき に託してください！**

プロフィール  
可児市今渡生まれ。今渡小学校、蘇南中学校、滝高等学校、名古屋大学法学部を卒業し、岐阜県職員となる。総務部長、健康福祉部長、環境生活部長を歴任し、平成 22 年 11 月可児市長に就任。



富田 無所属  
とみだ 無所属  
しげき 61歳

可児市長選挙

投票日時 **10月26日(日) 午前7:00~午後8:00**



(この選挙公報は、写真製版により、候補者から提出された原稿をそのまま掲載したものです。)

# 可児市長選挙

**投票** 10月26日(日)

**日時** 午前7:00~午後8:00

